



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々 昌俊

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,090	△3.1	△83	—	△63	—	△97	—
28年3月期第1四半期	4,222	3.0	51	—	85	—	56	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △173百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△5.00	—
28年3月期第1四半期	2.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第1四半期	17,223	—	14,225	—	82.6	
28年3月期	17,334	—	14,438	—	83.3	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 14,225百万円 28年3月期 14,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,985	3.1	281	12.9	291	△4.4	218	7.8	11.25
通期	17,187	3.8	164	39.0	216	2.8	107	147.7	5.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	21,076,154 株	28年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,667,474 株	28年3月期	1,667,474 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	19,408,680 株	28年3月期1Q	19,409,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境に改善傾向が見られるものの、内外の金融・経済情勢の不確実性が高まり、国内景気は足踏み状態が続いております。また、円高・株安に伴う消費者マインドや企業の景況感の悪化、個人消費の停滞等の懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。眼鏡小売市場は、お客様の節約志向が続くなか、企業間の販売競争・価格競争による厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、今年度を将来に向けて持続的に発展できる成長基盤を構築する事業年度として位置づけ、事業収益の改善・拡大と経営効率の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、主に眼鏡小売事業の売上高が低調に推移したことにより、売上高は4,090百万円（前年同四半期比3.1%減）と前年同期を下回る結果となり、また、売上総利益率は0.4%減少しました。一方、販売費及び一般管理費の経費削減に努めましたが、販売促進に伴う広告宣伝費や既存店の活性化投資などの営業経費の支出が増加しました。この結果、営業損失は83百万円（前年同四半期は営業利益51百万円）、経常損失は63百万円（前年同四半期は経常利益85百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は97百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円）となりました。今後ともお客様の支持が得られる店づくりの推進と経費コントロールに取り組み、収益基盤の強化を図ってまいります。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

## [眼鏡小売事業]

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、品揃えを強化することで、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げたヤング・ニューファミリー層の営業基盤を維持しつつ、ミドル・シニア層への対応の強化を進めております。特に、ミドル・シニア層に対しましては、眼鏡専門店として自信をもって提供してきた「視力補正技術」をアピールしながら、材質・機能・デザインなどの品質と価格面でコストパフォーマンスに優れた「商品開発」と独自の「接客サービス」の強化に取り組みました。

商品に関しては、「目の健康」をテーマとした快適で機能的な高付加価値商品の開発に取り組み、お客様にとって安心でお買い得な商品の品揃えの充実に努め、幅広い年齢層のニーズに対応してまいりました。

売上高に関しては、眼鏡の品揃えの充実によって販売単価が高まりましたが、低価格帯商品の販売数が伸びず、眼鏡の売上高は低調に推移しました。また、補聴器の売上高は、堅調に推移しておりますが、さらにアフターサービスを強化し、お客様の満足度向上に取り組んでまいります。

店舗に関しては、2店舗を出店、5店舗を閉店し、7店舗で改装を実施しました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は3,883百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント損失は49百万円（前年同四半期はセグメント利益68百万円）となりました。

## [写真館事業]

写真館事業は、総合写真館を3店舗経営しており、子供から大人までの幅広い年齢層のお客様の記念写真や家族写真の撮影メニューを豊富に取り揃え、美容着付け、貸衣装も行なっており、また、お客様の満足度向上を図るため、新商品や新企画の開発にも鋭意取り組んでおります。

この結果、写真館事業における売上高は25百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント損失は14百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は17,223百万円、負債合計は2,998百万円、純資産合計は14,225百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が102百万円増加し、純資産合計が212百万円減少した結果、自己資本比率は82.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,749	4,454
受取手形及び売掛金	760	782
商品及び製品	2,261	2,383
原材料及び貯蔵品	24	30
その他	243	282
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	8,035	7,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,062	1,100
土地	1,900	1,900
リース資産（純額）	81	75
その他（純額）	84	130
有形固定資産合計	3,128	3,206
無形固定資産		
リース資産	138	130
その他	31	29
無形固定資産合計	169	160
投資その他の資産		
投資有価証券	1,607	1,605
敷金及び保証金	3,715	3,646
その他	677	676
投資その他の資産合計	6,000	5,928
固定資産合計	9,299	9,295
資産合計	17,334	17,223

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	494	610
1年内返済予定の長期借入金	60	60
未払法人税等	148	57
賞与引当金	54	61
その他	986	1,125
流動負債合計	1,742	1,914
固定負債		
長期借入金	225	210
繰延税金負債	52	24
再評価に係る繰延税金負債	6	6
資産除去債務	339	339
リース債務	359	330
その他	171	172
固定負債合計	1,153	1,083
負債合計	2,896	2,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	5,356	5,220
自己株式	△1,050	△1,050
株主資本合計	16,745	16,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	53
土地再評価差額金	△2,471	△2,471
為替換算調整勘定	39	33
その他の包括利益累計額合計	△2,307	△2,384
純資産合計	14,438	14,225
負債純資産合計	17,334	17,223

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,222	4,090
売上原価	1,300	1,274
売上総利益	2,921	2,815
販売費及び一般管理費	2,870	2,899
営業利益又は営業損失(△)	51	△83
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	6	6
受取家賃	16	17
その他	16	12
営業外収益合計	44	40
営業外費用		
支払利息	1	0
固定資産除却損	0	5
賃貸費用	9	11
その他	0	2
営業外費用合計	11	20
経常利益又は経常損失(△)	85	△63
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	—	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	89	△67
法人税、住民税及び事業税	33	28
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	33	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56	△97
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	56	△97



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	56	△97
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△70
為替換算調整勘定	0	△5
その他の包括利益合計	31	△76
四半期包括利益	88	△173
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	△173
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	眼鏡小売	写真館	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,012	24	4,037	184	4,222	—	4,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	20	20	△20	—
計	4,012	24	4,037	205	4,242	△20	4,222
セグメント利益又は損失(△)	68	△12	55	△2	53	△2	51

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	眼鏡小売	写真館	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,883	25	3,909	181	4,090	—	4,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	19	19	△19	—
計	3,883	25	3,909	201	4,110	△19	4,090
セグメント損失(△)	△49	△14	△64	△0	△64	△19	△83

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△22百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。